

高知県立文学館 × 香美市立美術館

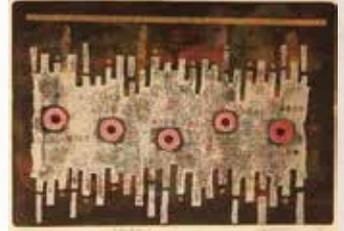
怖い文学展

不気味、恐ろしい、心が不安になる——。

見る人を怖い気持ちにさせる「怖い絵展」が2017年初冬に香美市立美術館で開かれ、大きな話題となりました。

人々はなぜ「怖い」を求めるのでしょうか？

本展では、香美市立美術館が開催する第4弾「怖い話と怖い絵展」とコラボし、和漢の怪異談をこよなく愛した田中貢太郎や馬場孤蝶など、高知の怖いもの好き文学者を軸に、当館ならではの切り口で「怖い」に迫ります。



坂上貞重「思考の遺跡II」(香美市立美術館蔵)

「怖い」を さぐる

あなたが惹かれる「怖さ」とは？恐怖との出会いをお楽しみください。創作人形作品のコラボ展示もあります。



「逢魔が時」制作：あだち杏

「怖い」を つくる

作家が読者を恐怖の世界に誘う、その手法とは!? 作家・加門七海先生のご協力のもと、「怖さ」の源泉、をのぞきます。



加門七海著『樹の囚』(光文社文庫)



加門七海著(原簿講座実習ノート)『怪談雨夜草紙』(KADOKAWA)

「怖い」の ゆくえ

現在ブームになっている「実話怪談」。その先達ともいえる作家たちを紹介し、怪談の未来を考えます。



田中貢太郎『怪奇物語続編』(右)と『怪談雨夜草紙』(左)

関連企画

加門七海先生 記念講演会「怪談のリアルとフィクション」

自身の心霊体験をもとにした実話怪談でも人気を博す作家・エッセイストの加門七海先生が来高!“怖い”とは何か、怪談文学の魅力を作家の視点から語ります。



撮影：富永智子

日時	令和8(2026)年2月8日(日) 午後2時～午後4時
場所	高知県立文学館1Fホール
定員	100名
参加費	要当日観覧券
申込	電話または 文学館受付にて事前申し込み

サイン会も同時開催!文学館内ショップにてサイン会当日に著書をお買い上げ頂いた方先着50名様(おひとりにつき1冊まで)に整理券を配布します

怪しき猫ども集まり来る!板猫を作ってみない?

2月22日は猫の日!これにちなみ、ネコ型の板を組み立て自由に着色して世界にひとつだけの猫を作ってみませんか?(協力:板猫屋)



日時	令和8(2026)年 2月22日(日)、2月23日(月・祝) 各日とも午後2時～午後4時
場所	高知県立文学館1Fホール
定員	各日とも50名
参加費	当日観覧券と材料費が必要です。 (板ネコ550円、箱ネコ880円)
申込	電話または 文学館受付にて事前申し込み



アーティストトーク「怖い絵、その魅力」



香美市立美術館・都築房子館長によるトーク。文学館の会場に展示した「怖い絵」を中心にアートとの視点で「怖い」を語ります。

日時	令和8(2026)年1月18日(日) 午後2時～(約1時間)
場所	高知県立文学館2Fロビー
定員	なし
参加費	要当日観覧券
申込	電話または 文学館受付にて事前申し込み



「絵本集紳」部分(当館蔵)

怖いクイズ!

展示を見ながらクイズを解いてみましょう。正解数に応じて、ちょっと怖いプレゼントがあります。

日時	令和8(2026)年 3月20日(金・祝)、 3月21日(土)、3月22日(日) 各日とも ①午前10時～12時 ②午後2時～午後4時まで
場所	高知県立文学館2F 展示室前ロビー
参加費	要当日観覧券 (直接会場にお越しください)

展示解説

毎週土曜日に、展示会担当者による展示解説を行います。各回とも午後1時30分～(約20分)。要当日観覧券(直接会場にお越しください)。



「絵本集紳」(当館蔵)

教えて!

あなたが体験した怖い話

なんか分からんけどあれは不思議で怖かったちや…。あなたが体験した怖い話を会場で大募集☆

「土佐化物絵本」部分(当館蔵)

